



大気測定現場の様子 (PM2.5)

かんぽ 環保センターだより

発行：岡山県環境保健センター

〒701-0298 岡山市南区内尾739-1

TEL:086-298-2682 FAX:086-298-2088

URL <https://www.pref.okayama.jp/site/712/>

© 岡山県「ももっち・うらっち」

光化学オキシダントの環境基準が見直されました

①光化学オキシダントとは？

光化学オキシダントとは、工場や自動車からの排ガスなどに含まれる窒素酸化物等の大気汚染物質が、強い紫外線を受けて発生する酸化性物質の総称です。日差しが強く、気温が高く、風が弱い日に濃度が高くなる傾向があり、濃度が高くなると、目がチカチカする、喉が痛くなるなどの健康被害につながることがあります。

②見直しの内容は？

光化学オキシダントの環境基準について、令和8年4月1日から新基準が適用されることとなりました。見直しの内容は、健康影響、植物影響に係る最新の科学的知見に基づき、短時間の高濃度ばく露だけでなく、長期間にわたる健康や植物への影響も考慮したものになっています。

項目	見直し前	見直し後（令和8年4月1日施行）
環境基準	短期：1時間値 0.06ppm以下 1時間値とは、連続測定された値の1時間ごとの平均値のこと	短期：8時間値 0.07ppm以下 長期：日最高8時間値の年平均値 0.04ppm以下（新設） 8時間値とは、連続する8時間における1時間値の平均値のこと

ppm：100万分の1の濃度を示す単位で、大気中に光化学オキシダントがどの程度含まれているかを表します。

③光化学オキシダントの情報・注意報・警報

県では、光化学オキシダントの濃度レベルに応じて、「情報」、「注意報」などを発令し、大規模な工場に対して大気汚染物質の排出削減を要請するほか、道路交通情報板などを利用してエコドライブの励行等を広く呼びかけています。

④光化学オキシダントの発令時はどうすればいい？

光化学オキシダント注意報が発令されたときは、健康被害を防止するため、屋外での活動を控え、できるだけ窓を閉めた屋内で活動するようにしてください。

当センターでは、光化学オキシダントの注意報や、PM2.5の注意喚起の情報をお知らせするメール配信サービスを行っています。ぜひ、ご登録ください。（大気科）

大気汚染情報の メール配信サービス

登録はこちらから



オキシダント



PM2.5



発信箱

RAMISで全国の放射線の状況が確認できます！

岡山県では、人形峠周辺をはじめとした県内8ヶ所に設置した放射線モニタリングポストで環境放射線測定を行っています。全国各地でも同様の測定が行われており、その結果を分かりやすく確認できるシステムを原子力規制委員会が整備しています。その名も「放射線モニタリング情報共有・公表システム」通称「RAMIS（ラミス）」です。

今回は、このRAMISについてご紹介します。



図1：モニタリングポスト

RAMISってどんなもの？

令和3年から運用を開始したシステムで、普段から国や自治体を実施する環境放射線測定の結果を公表しています。また、万が一、原子力災害が発生した際にも、国が主体となって実施する緊急時モニタリングの結果を公表するほか、政府が指示や要請を検討するための情報システムとして活用されます。

RAMISでわかること

①測定地点の位置情報

測定地点が見やすく地図上にマーカーで表示され、都道府県名や原子力関係施設の名称を選ぶと、その周辺の測定地点を確認することができます。また、マーカーの色は放射線量によって変わるため、表示されているエリア周辺の放射線量の分布が一目で分かります。

②各地点における測定値

マーカーをクリックすると、その地点の測定値がリアルタイムで表示されます。また、グラフや一覧表でその地点の放射線量の推移を確認することができます。

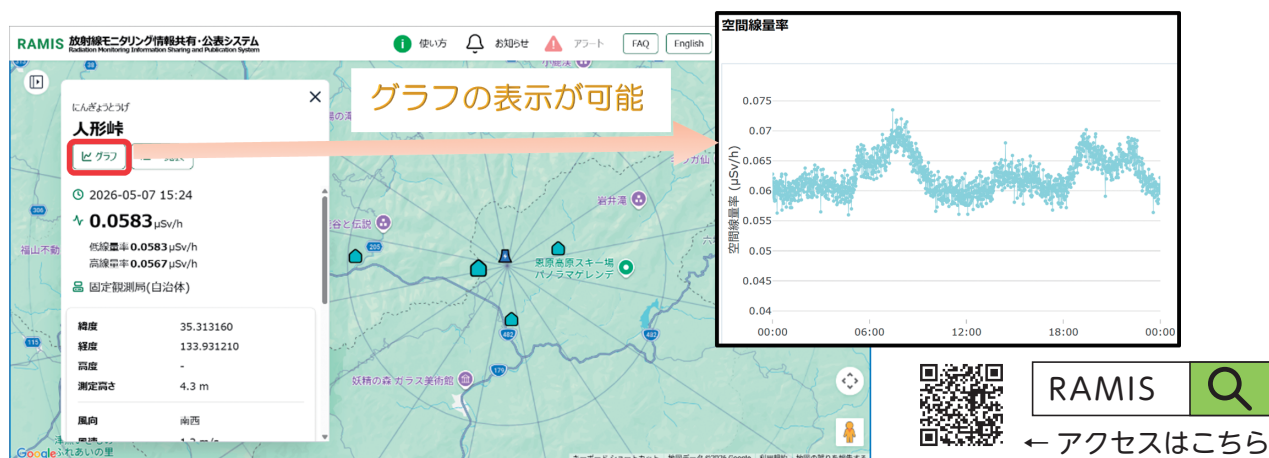


図2：RAMIS表示画面（出典：<https://www.ramis.nra.go.jp/>）

さいごに

放射線は地表や宇宙からも放出されており、思いの外、地点や測定時刻の違いにより数値が大きく変化します。普段の数値を知っておくことは、緊急時に提供された情報を正しく受け取る助けになりますので、この機会に身の周りの放射線量について調べてみてはいかがでしょうか。

（放射能科）

所長就任あいさつ

これまで食品衛生等の保健行政、水質・廃棄物対策等の環境行政に携わり、この4月から担当しています。当センターは、環境保健行政を科学的・技術的側面から支える試験研究機関として、各種試験検査や監視測定、行政課題等を踏まえた調査研究、情報発信等を行っております。新たな化学物質や感染症への対応など、環境保健分野の課題は年々変化し、多岐にわたっていますが、引き続き関係機関と連携しながら、県民の皆様の安全・安心を確保するための取組を進めてまいります。

岡山県環境保健センター 所長 楠奥 浩庸